

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

社内で重要な命令や伝達が共有されない理由

強い組織、強い現場を作るための、やさしい現代マネジメント！

【共有されない重要伝達】

社内ネットで告知しても、回覧を回しても、時には“会議”で強調しても、組織内に“命令”や“重要伝達”が徹底されないことは、今や珍しいとは言えないようです。

命令や告知が伝わらないのですから、業務上重要な情報やノウハウが、共有されるはずもないとさえ言えるかも知れません。

【現代特有の事情がある？】

高度情報化社会と言われる現代で、なぜ“重要情報”や“必要事項”が共有されないのでしょうか。そこには『現代特有の事情がある』と、指摘する経営者がおられるのです。

【異次元が錯綜する世界の中で…】

私達は、今、家庭や職場という“実社会”の他に、仕事上のネットワークやスマホの中の世界等、多様な“異次元世界”で活動しています。

ところが、何らかの事情で、ストレス過剰状況に陥ると、“異次元を渡り歩く”元気を失ってしまい、重要でないと感じる対象から、“間引き”を始めたいくなるということです。

【身近な人ほど遠くなる？】

そして、真っ先に間引きされる対象は、“いつでも戻って来られる”安心感がある先になりやすいのです。その結果、私達は多忙になると、身近な人達に対して、“無口”になるのでしょうか。

ところが、しばらく“間引き”状態を続けると、戻って行けるはずの家庭や職場の隣人が、いつの間にか“遠い”存在になってしまいます。

【近い人との人間関係がストレスに！】

そして、再び“身近な人達”と交流を再開すること自体が、大きなストレスになり得るわけです。その結果、近隣とは異なる別世界で、“お一人様”状況に陥りやすくなるわけです。

そこでは、もう“通常の告知”が届きません。今、そんな状況が蔓延しているようなのです。

【マネジメント・レポートを差し上げます！】

しかし、そんな状況下でも、情報共有を進める方法があります。そのためには、現状把握と、“2つの方法の施行”が重要だとされるのです。

詳しい内容については、**定期購読者にレポートを送ります。ご希望の方はご一報ください。**



今、社内の“命令”や“重要情報”の共有が、上手く行かないケースが増えて来ているようです。高度情報化の中で、マネジメントに不可欠な重要事項が、なかなか社内に徹底されないことがあるのです。

情報共有の場である会議でも、“自分に直接関係ない”と思い込むと、話を聞き流してしまう“参加者”がいます。

なぜ、そのような状況に陥ってしまうのでしょうか。そして、情報や知恵を組織内で共有するために、今、何をすべきなのでしょう。

中堅中小企業の皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』に、ご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>